

公 表 日

令和 3年 6月 21日

## 随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	立野ダム運用検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 立野ダム工事事務所長 阿部 成二 熊本県熊本市東区下南部1丁目4-73
契約年月日	令和 3年 6月 21日
契約業者名	(株) 建設技術研究所
契約業者の住所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契約金額	22,649,000円(税込み)
予定価格	22,649,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	熊本県阿蘇郡南阿蘇村立野、熊本県菊池郡大津町外牧
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 3年 6月 22日
履行期間(至)	令和 4年 2月 28日
備考	入札情報サービス(PPI) ( <a href="http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx">http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx</a> ) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

## 契約理由書

1. 業務件名 立野ダム運用検討業務
2. 履行場所 熊本県阿蘇郡南阿蘇村立野、熊本県菊池郡大津町外牧
3. 契約の相手方 住 所：福岡市中央区大名 2-4-12（C T I 福岡ビル）  
会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社  
電 話： 0 9 2 - 7 1 4 - 2 2 1 1
4. 契約適用法令：会計法第 2 9 条の 3 第 4 項及び  
予算決算及び会計令第 1 0 2 条の 4 第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

- 1) 当該業務の目的

本業務は、立野ダムの操作運用等の検討を行い、今後の立野ダムの適正な管理運用の基礎資料とするものである。

- 2) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低 2 0 者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を 2 1 者が入手（ダウンロード）し、4 者から参加表明書が提出され、4 者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち 4 者を技術提案書の提出者として選定し、4 者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断された。

特に「配置予定技術者の成績及び表彰」は最も優れた評価であり、かつ「実施方針、実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」、「実施手順」、「その他」における「実施フローの工夫」、「重要事項の指摘」が記載されていること、及び特定テーマの「流水型ダムである立野ダムの特徴を踏まえた、工事中及びダム完成後の操作規則（案）、操作細則（案）を立案する上での検討項目及び留意点」に対する技術提案について「提案内容を裏付ける類似実績」、「着眼点、問題点、解決方法」について、最も優れた提案が行われていたものである。よって、会計法第 2 9 条の 3 第 4 項及び予算決算及び会計令第 1 0 2 条の 4 第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

立野ダム工事事務所 調査設計課長